

目的と概略

生産性の向上と価値創造に向けた課題解決の手段としてIoTに対する期待が高まっています。過去に地域情報化大賞を受賞された事例も実証フェーズから実装フェーズに移り、全国への展開も進められているところです。これらの事例を見ると必ずしも最先端技術が必要ということではなく、実現している技術の活用であることが分かります。また、デバイスも非常に身近なスマートフォン等であり、クラウド環境が活用されるのも特徴となっています。

展開実績が増えており、ノウハウの蓄積、人材の育成も進んでいることから、地域においても取り組みやすい環境となっており、まさに「IoTは地方創生の1丁目1番地」になりつつあると感じます。

弊会では、地域や各団体で取組まれている様々な事例を紹介し、IoTの利活用を促進する活動を行っております。是非とも本誌に掲載されている事例をご覧頂き地域の活性化にお役立ていただきたくVol.20の編集をいたしました。ご活用いただきますことお願いいたします。

FutureVol.20では、各地域で取組まれている最新事例を以下の構成でご紹介をいたします。

特集1．沖縄エリアにおけるICTを活用した取組の紹介

平成28年度はICT利活用サミットを沖縄県那覇市で開催いたしましたので、沖縄県でのICT利活用事例を特集いたします。

特集2．自治体Wi-Fiを活用した取組の紹介

2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、自治体Wi-Fi整備に関する関心が全国的に高まっています。参考となる先導自治体の事例も多く見られるようになりました。ご寄稿いただきました中から自治体Wi-Fiに関係するものを特集いたします。

特集3．各地域や団体で取組まれている事例（新規掲載事例）の紹介

多様な分野から新たな事例をご寄稿いただきました。また、地域活性化大賞受賞事例および優良事例についてもご寄稿をいただきました。本特集では、分野ごとに分類して各地域や団体で取組まれている新たな事例についてご紹介いたします。